



日本の教育を考える10人委員会2013

小学生保護者アンケート調査結果  
「子どもの教育について」

---

2014年3月

日本の教育を考える10人委員会

# 1. 調査の趣旨及び概要

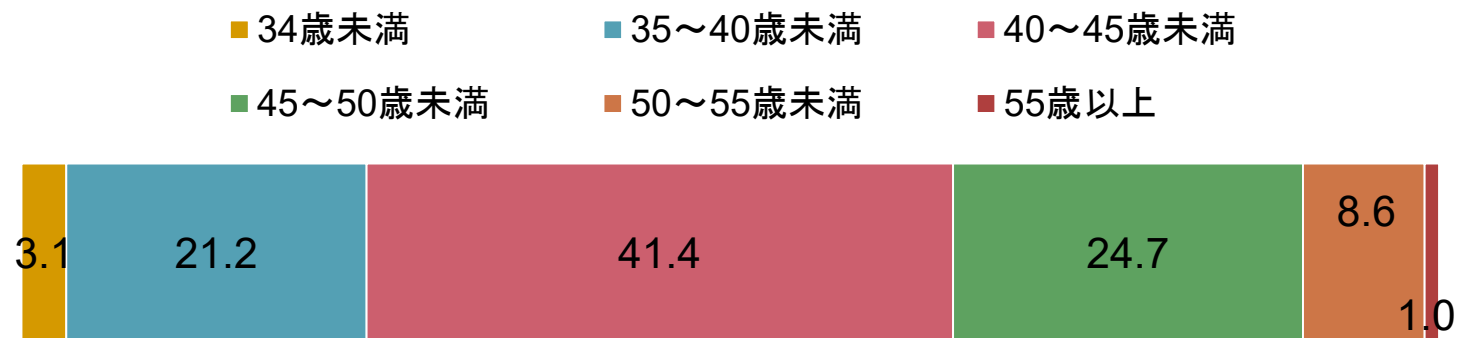
- 目的
  - 子どもの教育に関する保護者の意識に焦点を当て、家庭の所得や地域性などによって子どもが受ける教育にどの程度“差”が生じるかを明らかにすることを目的とした。
- 方法：
  - インターネット調査(株式会社クロス・マーケティング)
- 対象：
  - 公立小学校4～6年生の子どもを持つ保護者
  - 2,350名(47都道府県×50名)
- 実施時期：
  - 2013年9月11日～13日

※アンケートを実施するにあたっては、下記調査を参考にしました。

参考文献:「学校教育に対する保護者の意識調査2012 Benesse 教育研究開発センター・朝日新聞社  
[http://berd.benesse.jp/berd/center/open/report/hogosya\\_ishiki/2013/index.html](http://berd.benesse.jp/berd/center/open/report/hogosya_ishiki/2013/index.html)」

## 2. 結果\_回答者属性(1)

- 年齢(n=2350)

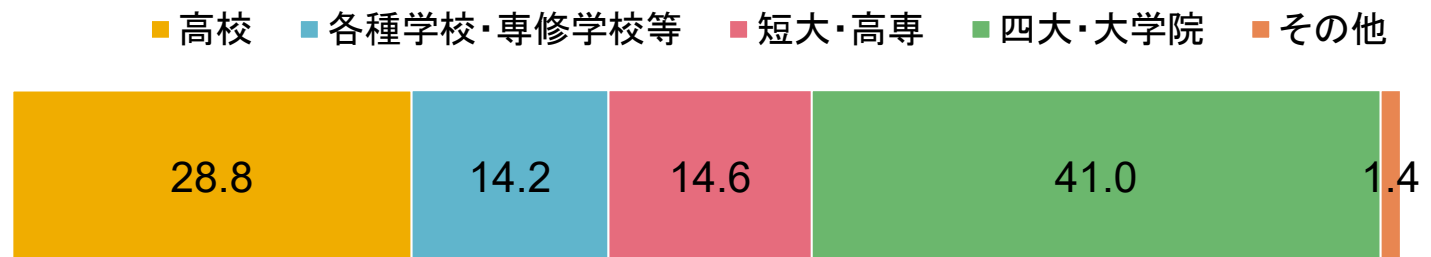


- 性別(n=2350)

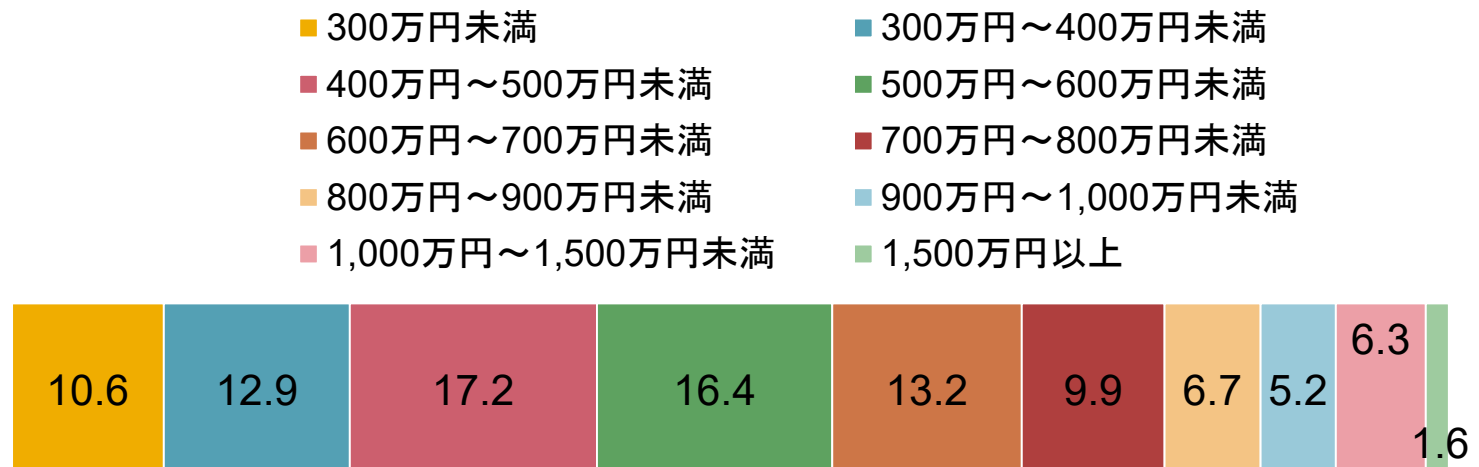


## 2. 結果\_回答者属性(2)

- 最終学歴(n=2350)



- 世帯年収(n=2350)

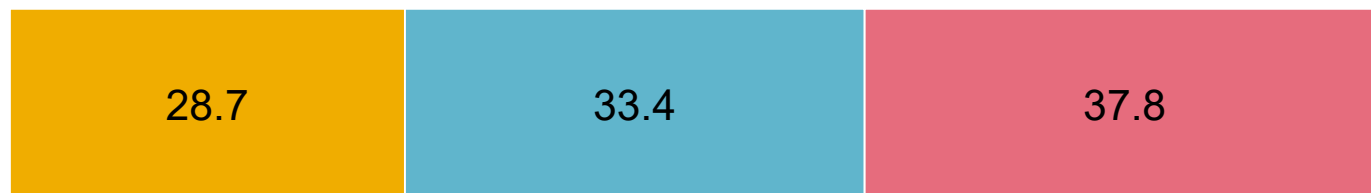


### 3. 結果\_回答者の子どもの属性

※小学校4～6年生の子どもが複数人いる場合には、最年長の子どもについて回答いただいた。  
なお、質問に「あなたのお子様の教育・・・」とある場合には、ここで回答した子どもについて回答いただいた。

- 学年 (n=2350)

■ 小学校4年生 ■ 小学校5年生 ■ 小学校6年生



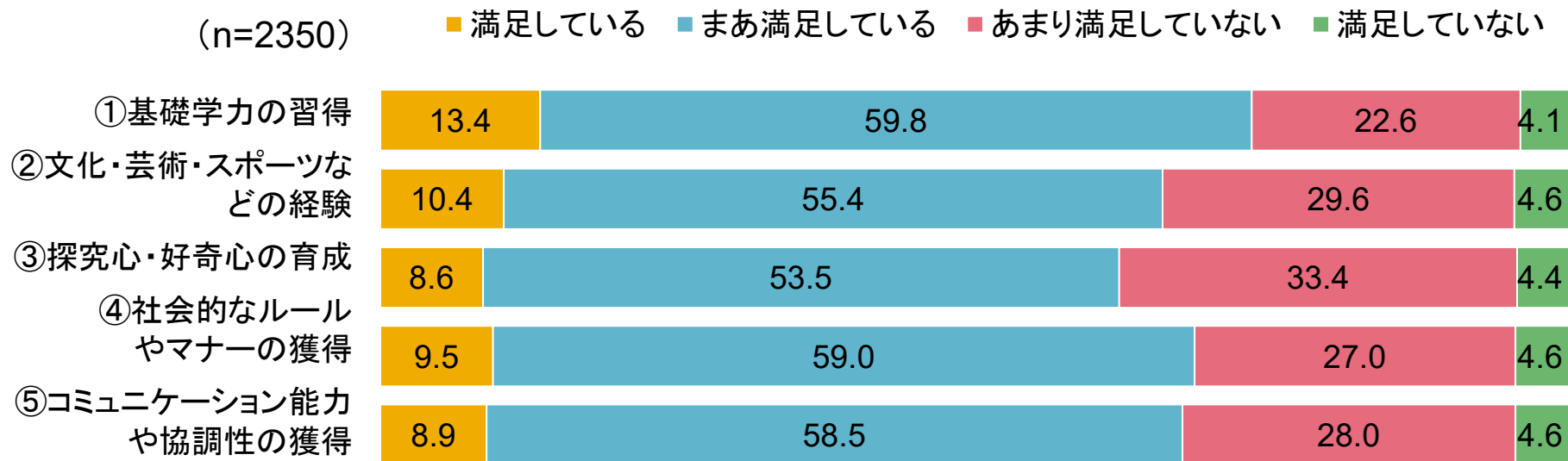
- 性別 (n=2350)

■ 男児 ■ 女児



## 4. 調査結果

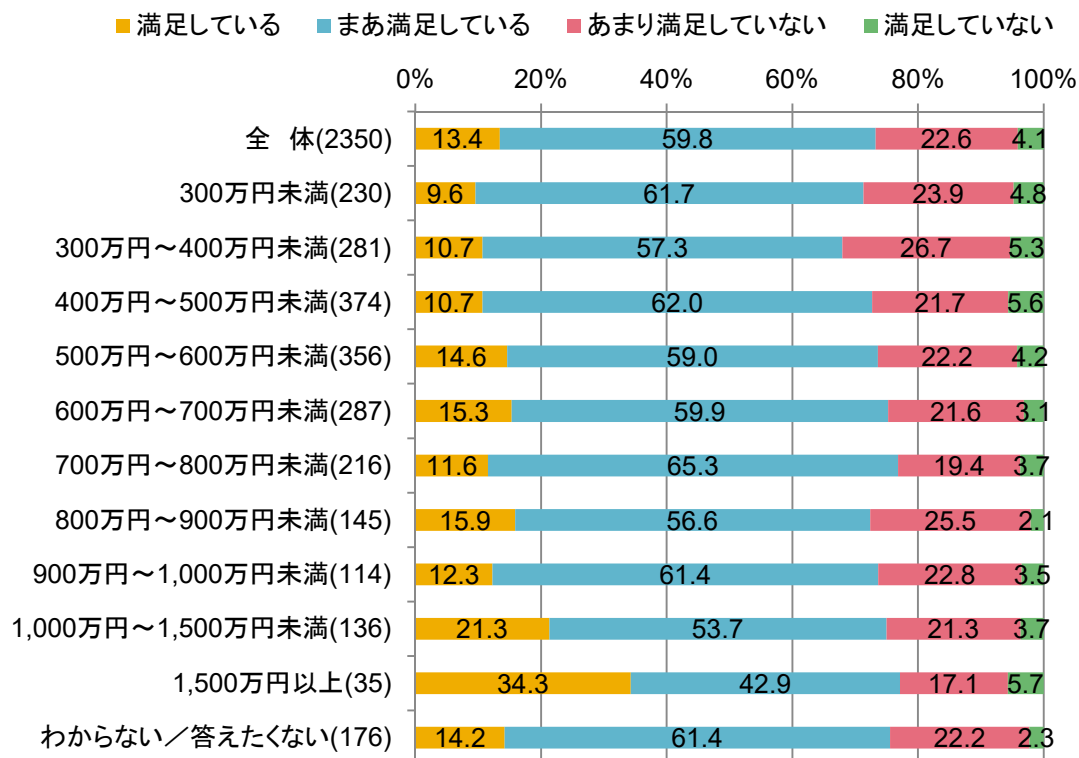
Q1. あなたは、お子様の通う学校についてどの程度満足していますか。下記のそれぞれの項目について、当てはまるものを一つずつ選択してください。【全体】



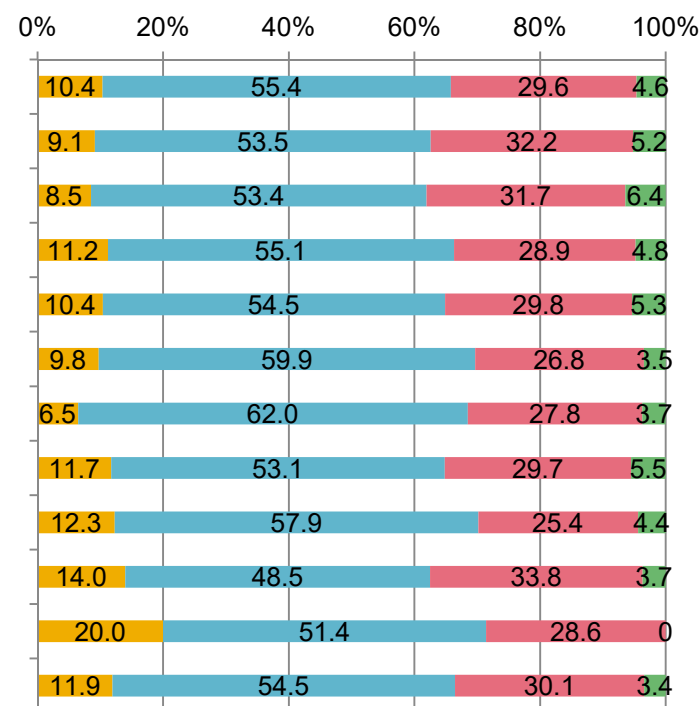
- 現在の公立学校に対する保護者の満足度は、「基礎学力の習得」が最も高く、73.2%（「満足している」＋「まあ満足している」）であった。
- その他の項目で70%を超えたものはなく、中でも「探究心・好奇心の育成」は62.1%（「満足している」＋「まあ満足している」）であった。

Q1. あなたは、お子様の通う学校についてどの程度満足していますか。下記のそれぞれの項目について、当てはまるものを一つずつ選択してください。【年収別】

① 基礎学力の習得



② 文化・芸術・スポーツなどの経験



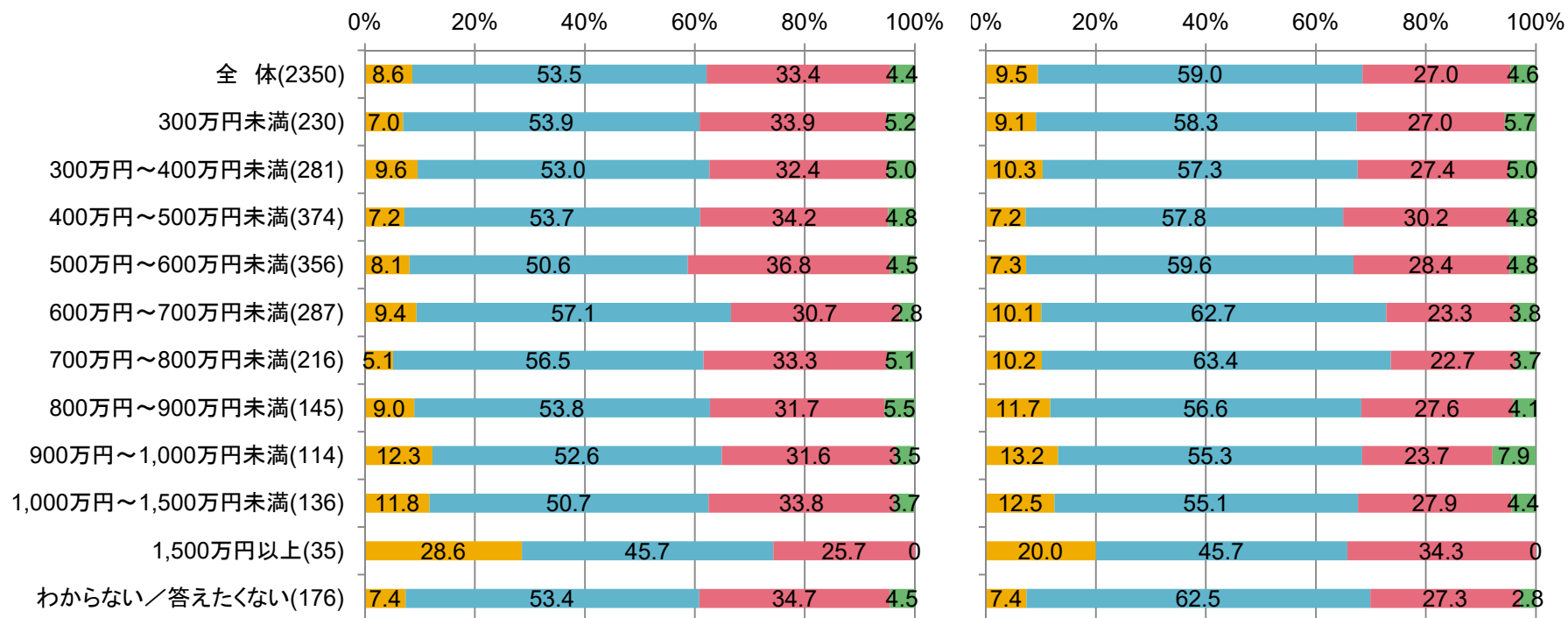
- ・ 保護者の満足度が相対的に高い「基礎学力の習得」では、年収1,000万円以上で「満足している」の割合が高くなっている。
- ・ 「文化・芸術・スポーツなどの経験」については、保護者の年収による満足度の差はそれほど顕著にはみられない。

Q1. あなたは、お子様の通う学校についてどの程度満足していますか。下記のそれぞれの項目について、当てはまるものを一つずつ選択してください。【年収別】

③探究心・好奇心の育成

④社会的なルールやマナーの獲得

■満足している ■まあ満足している ■あまり満足していない ■満足していない

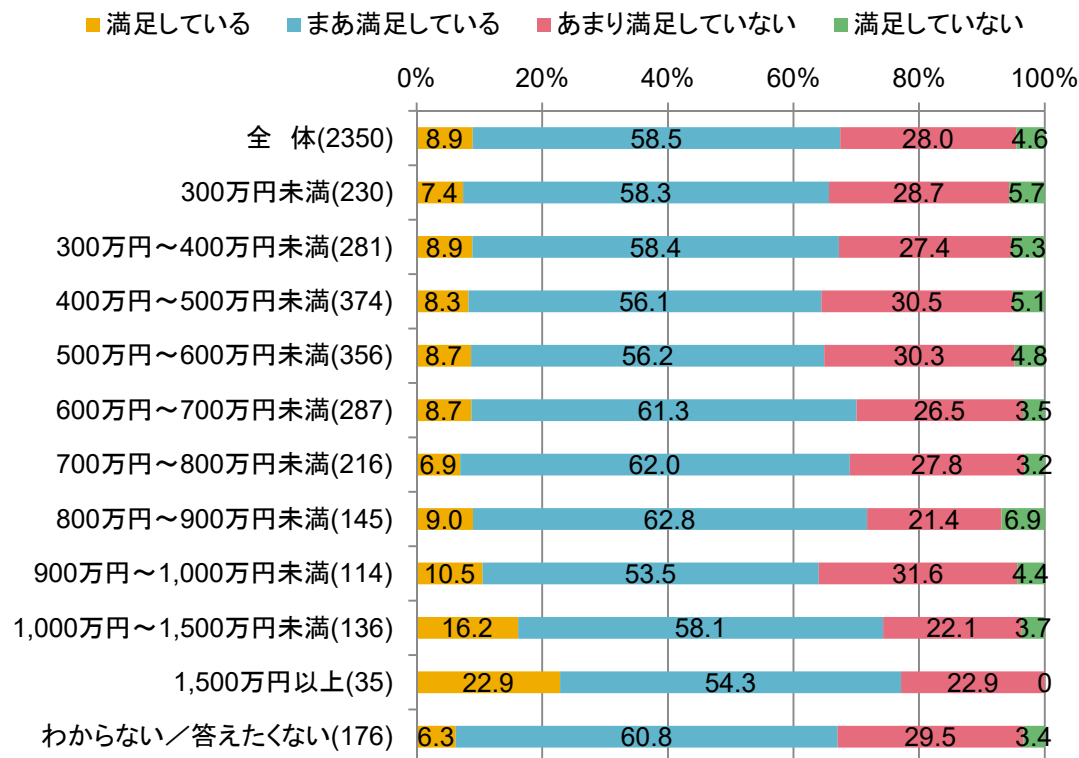


- 「探究心・好奇心の育成」では、年収1,500万円以上で「満足している」の割合が高くなっている。
- 「社会的なルールやマナーの獲得」については、保護者の年収による満足度の差はそれほど顕著にはみられない。



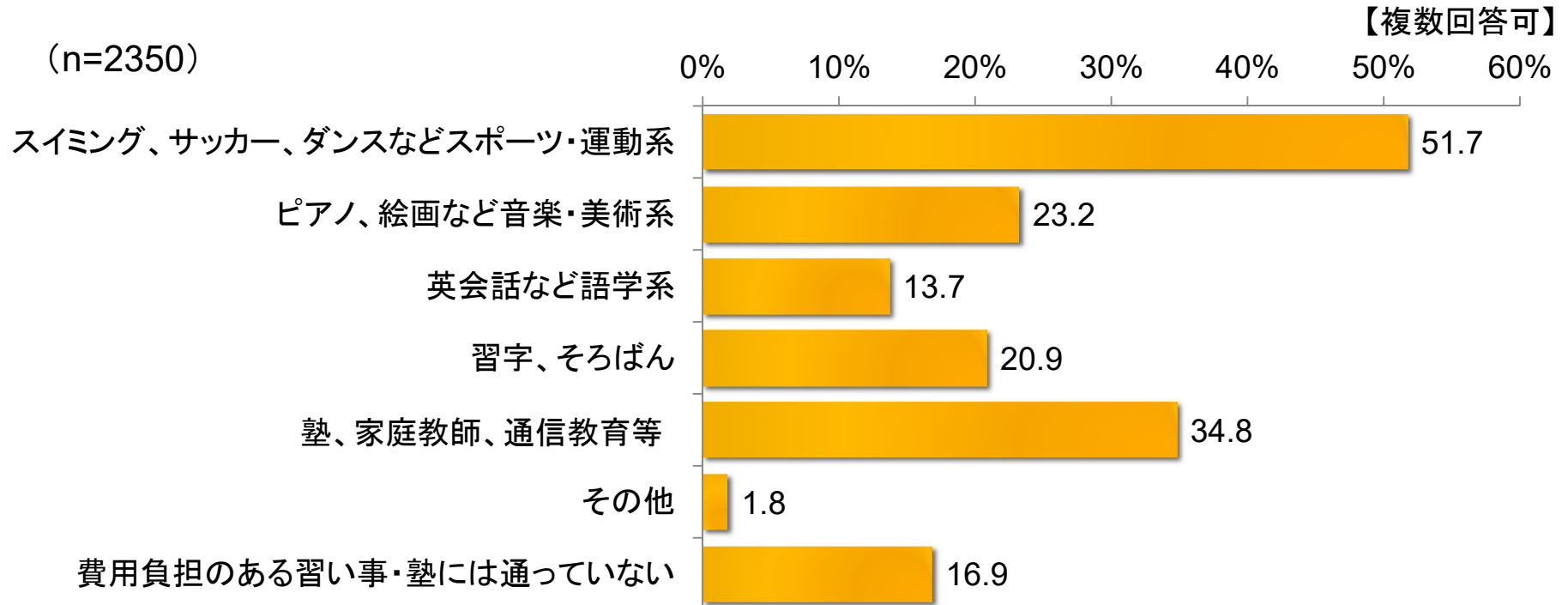
Q1. あなたは、お子様の通う学校についてどの程度満足していますか。下記のそれぞれの項目について、当てはまるものを一つずつ選択してください。【年収別】

⑤コミュニケーション能力や協調性の獲得



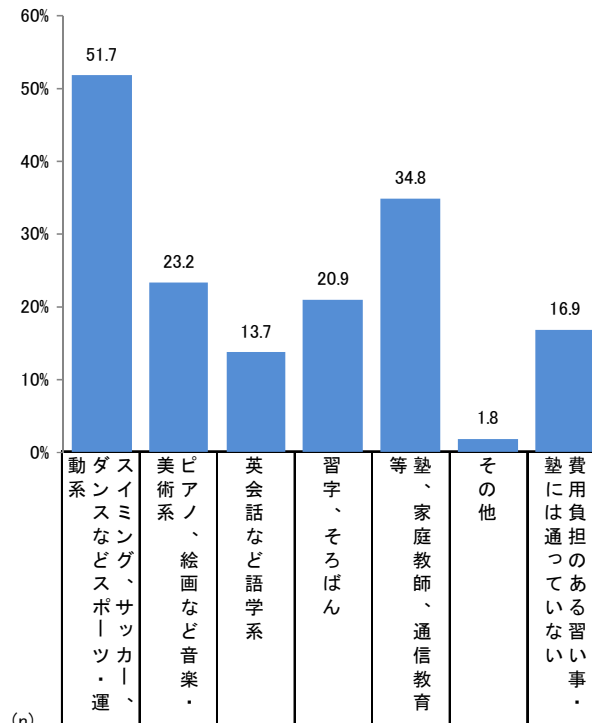
- 「コミュニケーション能力や協調性の獲得」では、年収1,000万円以上で「満足している」+「まあ満足している」の割合が高くなっている。

## Q2. あなたのお子様が現在通っているものを全てお選びください。【全体】



- 子どもの習い事として一番割合が高かったのは「スポーツ・運動系」であり、半数超の51.7%が通っている。次いで、「塾、家庭教師、通信教育」といった学習関連が34.8%であった。
- 最も割合が低かったのは「語学系」であり、13.7%であった。

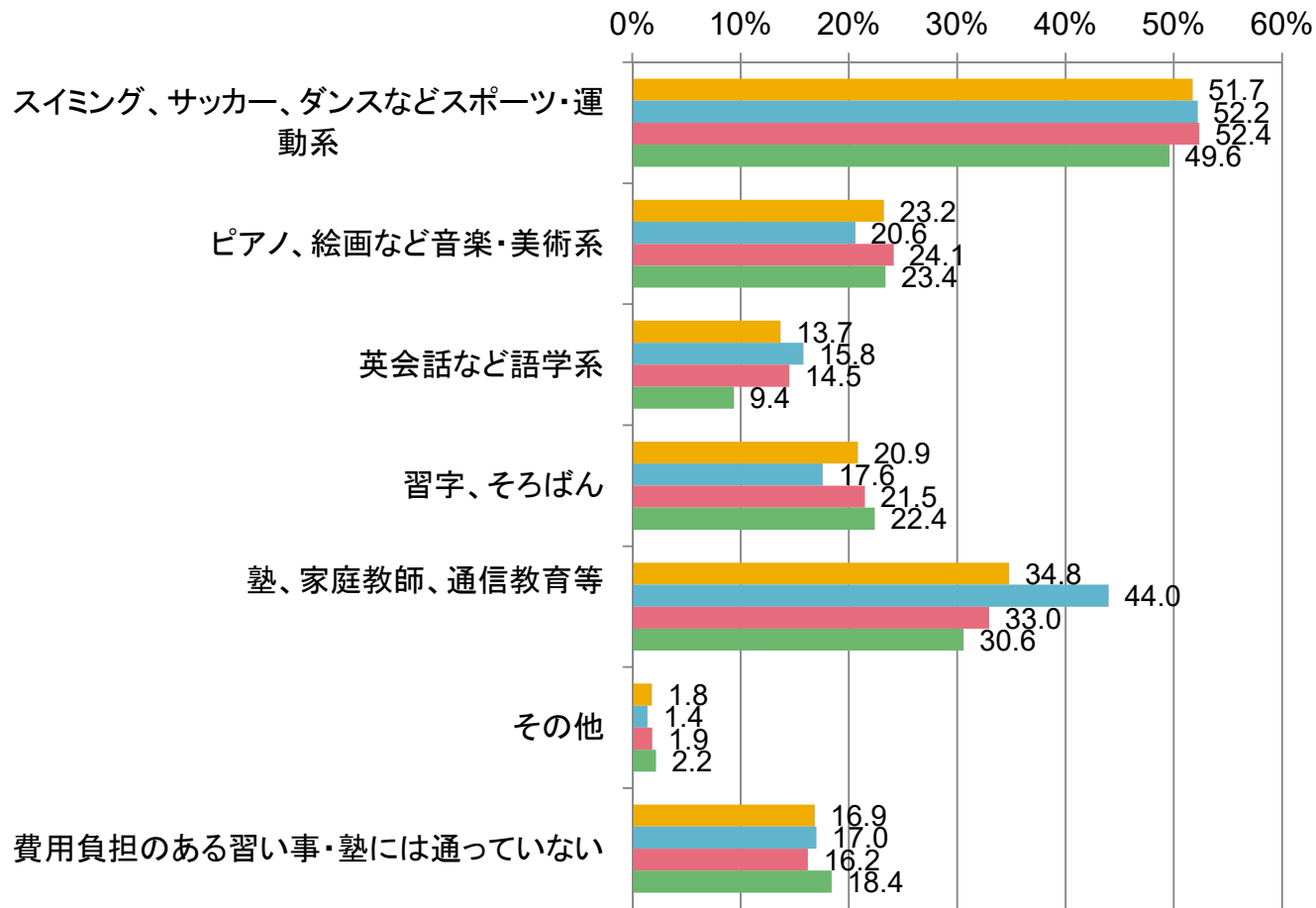
## Q2. あなたのお子様が現在通っているものを全てお選びください。【年収別】



		(n)	動系	音楽系	英会話など語学系	習字、そろばん	塾、家庭教師、通信教育	その他	費用負担のある習い事
全体		2350	51.7	23.2	13.7	20.9	34.8	1.8	16.9
世帯年収別	300万円未満	230	45.2	16.1	10.0	20.4	28.7	2.6	26.5
	300万円～400万円未満	281	45.6	18.9	9.3	17.1	32.7	1.4	23.8
	400万円～500万円未満	374	51.1	19.3	11.2	19.5	28.6	2.1	18.2
	500万円～600万円未満	356	54.5	21.3	12.6	19.4	33.4	2.5	16.3
	600万円～700万円未満	287	58.5	25.8	15.7	21.3	36.6	1.4	13.2
	700万円～800万円未満	216	56.9	26.9	15.3	27.3	36.1	1.9	9.3
	800万円～900万円未満	145	50.3	33.1	20.0	22.8	46.9	0.7	9.7
	900万円～1,000万円未満	114	54.4	26.3	16.7	22.8	38.6	1.8	13.2
	1,000万円～1,500万円未満	136	54.4	31.6	19.9	22.1	49.3	0.7	11.8
	1,500万円以上	35	51.4	37.1	31.4	17.1	51.4	0.0	8.6
わからない/答えたくない		176	46.0	23.9	12.5	21.6	30.7	2.3	20.5

- 全体として、世帯年収が高いほど、習い事に通う割合が大きくなる傾向にある。
- 特に、「音楽・美術系」、「語学系」は、年収300万円未満と1000万円以上とで通う割合の差が2倍以上の開きを見せている。
- 一方、「スポーツ・運動系」、「習字、そろばん」は世帯年収による差が小さい。

## Q2. あなたのお子様が現在通っているものを全てお選びください。【地域別】



◆都道府県の大学等進学率への進学率を指標として、47都道府県のうち上位10県を「高」(56.5～65.2%)、下位10県を「低」(38.2～42.4%)、中間37県を「中」とした。データは学校基本調査(平成24年度)。

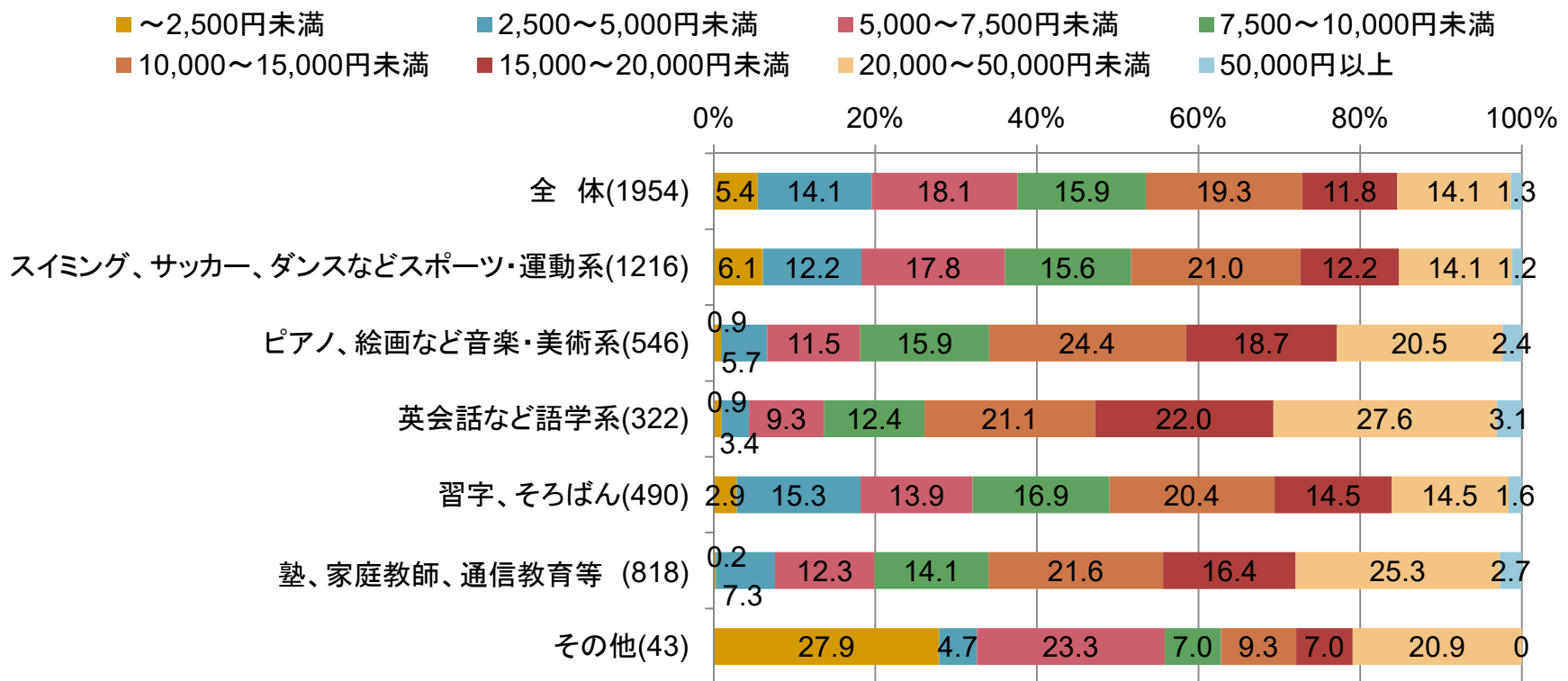
■ 全体(2350)  
 ■ 高(500)  
 ■ 中(1350)  
 ■ 低(500)  
 ※( )内はn数

◆「高」・・・ 埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、広島県

◆「低」・・・ 北海道、青森県、岩手県、鳥取県、山口県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

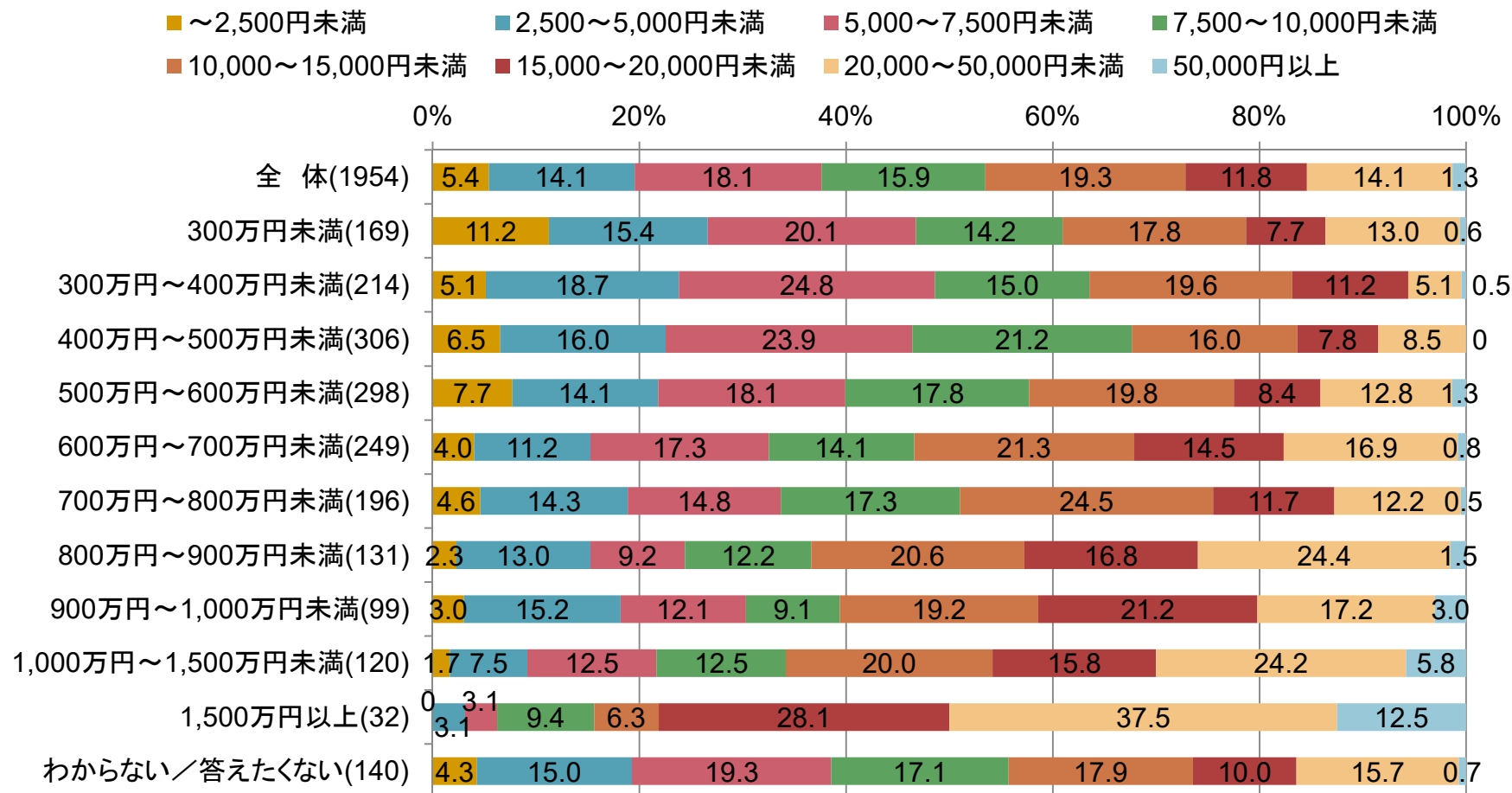
- 「塾、家庭教師、通信教育等」に通っている割合は大学進学率の高い地域において44.0%と突出して高くなっている。
- 一方、「習字、そろばん」に通っている割合は、大学進学率の低い地域ほど高くなる傾向がみられる。

Q3. 前問で選択した習い事、塾などにかかる費用はどの程度ですか。  
 お子様お一人にかかる1か月あたりの費用を合計した金額として、当てはまるものを一つ選択してください。【全体】



- 全体で見ると、学校外にかかる一人当たりの月額教育費用は「10,000~15,000円未満」が最も多く19.3%である。
- 項目別では、「英会話など語学系」、「塾、家庭教師、通信教育等」が高額で「20,000~25,000円未満」が最も多くそれぞれ27.6%、25.3%である。

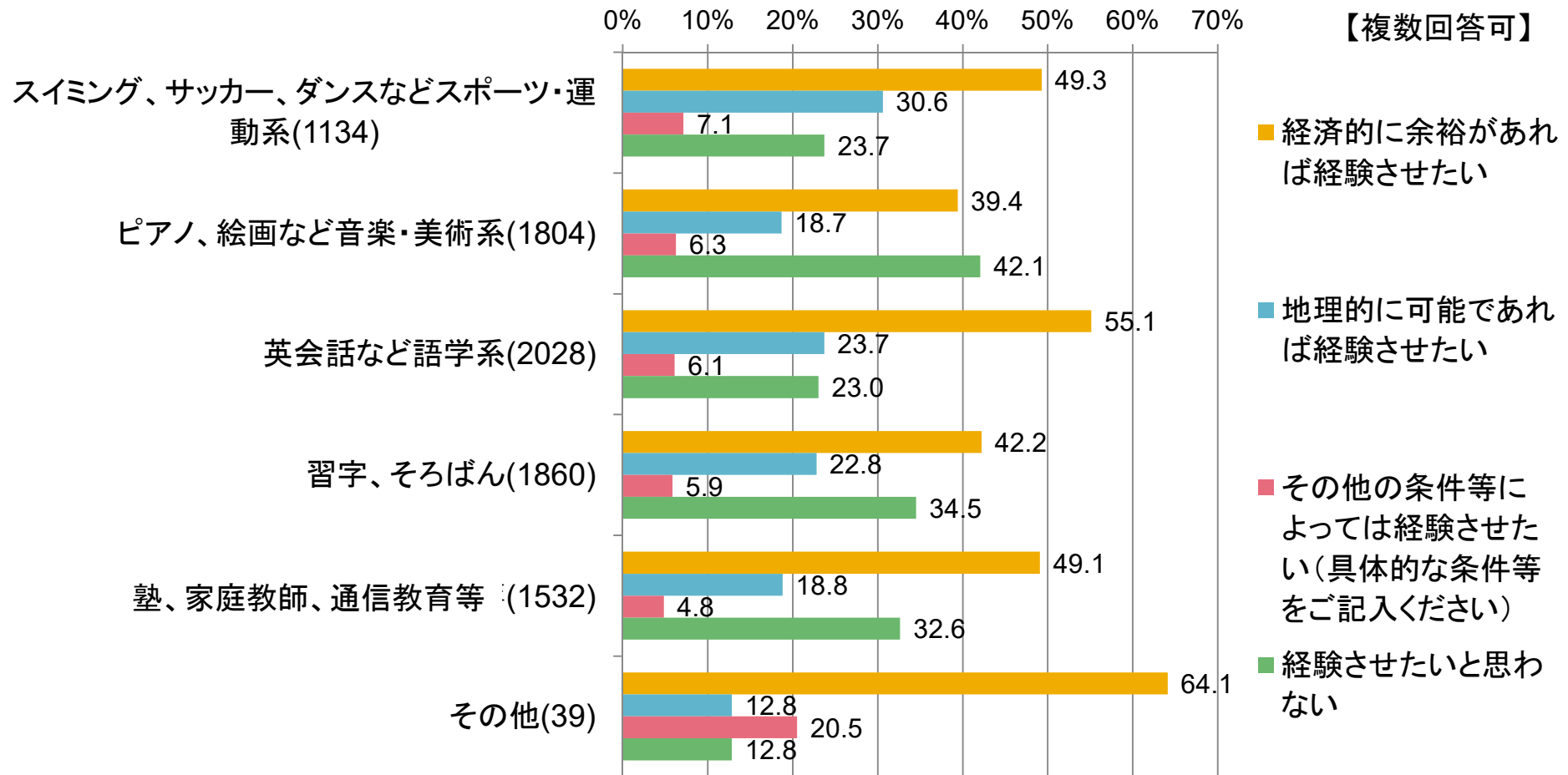
Q3. 前問で選択した習い事、塾などにかかる費用はどの程度ですか。  
 お子様お一人にかかる1か月あたりの費用を合計した金額として、当てはまるものを一つ選択してください。【年収別】



- 世帯年収500万円未満では10,000円未満の支出が60%を上回っている。
- 一方、世帯年収800万円以上では20,000円以上の支出が20%を上回っている。

Q4. あなたはお子様に下記の習いごとを「機会があれば経験させたい」と思いますか。  
 当てはまるものを全て選択してください。【全体】

※現在通っていないものについてのみ回答

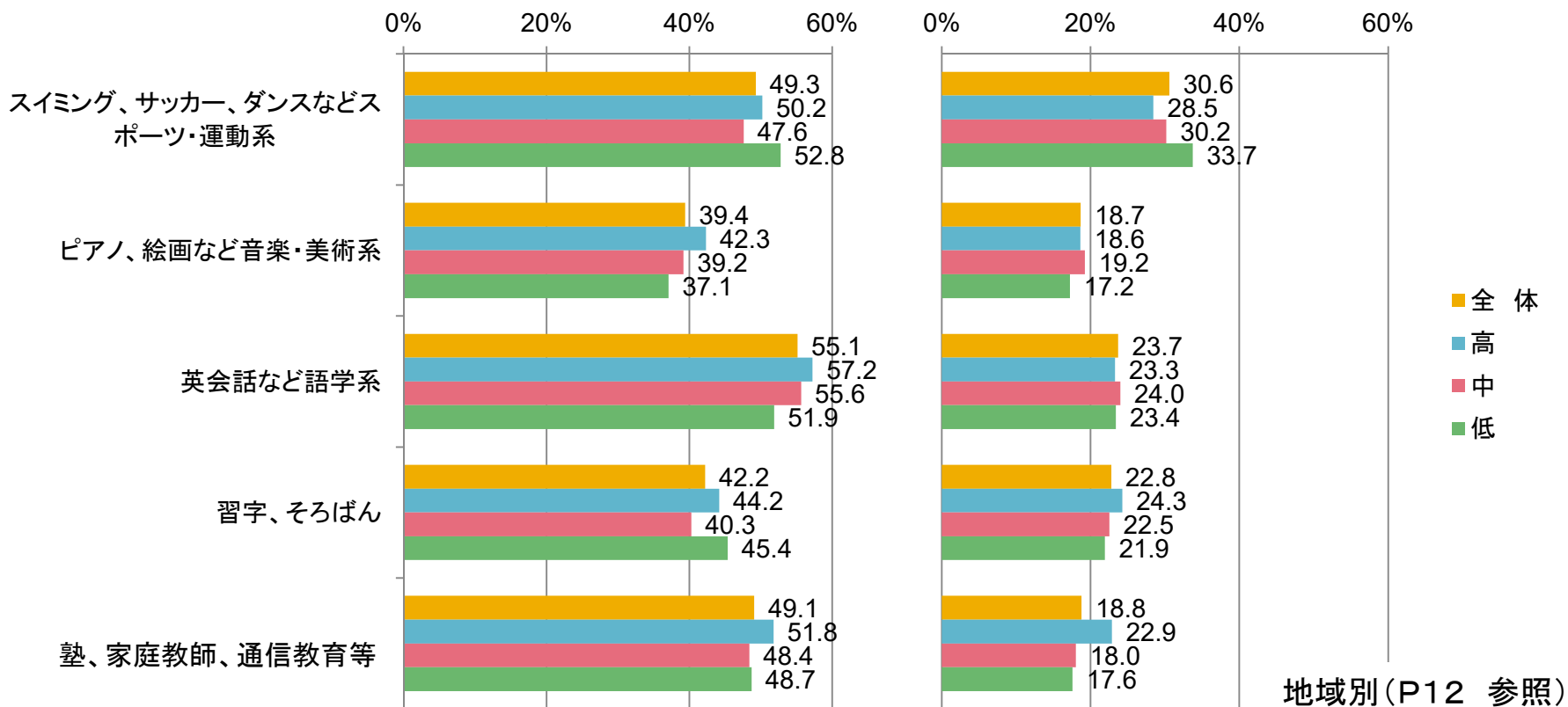


- 現在通っていない習いごとで「経済的に余裕があれば経験させたい」と思う割合は、「語学系」55.1%、「運動系」49.3%、「塾、家庭教師、通信教育等」49.1%となっている。
- 一方、「地理的に可能であれば経験させたい」と思う割合は、「スポーツ・運動系」で最も高く、30.6%である。

Q4. あなたはお子様に下記の習いごとを「機会があれば経験させたい」と思いますか。  
 当てはまるものを全て選択してください。【地域別】 ※現在通っていないものについてのみ回答

【経済的に余裕があれば経験させたい】

【地理的に可能であれば経験させたい】



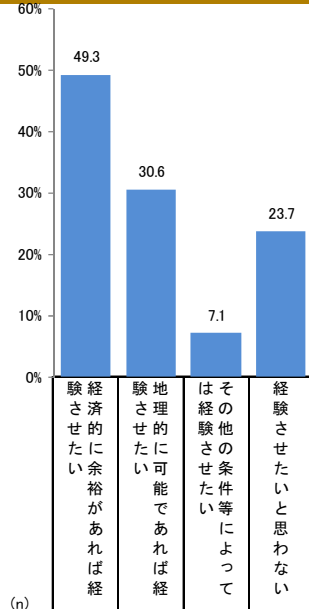
- 大学進学率の高い地域では「語学系」「塾、家庭教師、通信教育等」を経験させたいと思う割合が高くなっている。
- 一方、進学率の低い地域では、「スポーツ・運動系」を経験させたいと思う割合が高くなっている。



Q4. あなたはお子様に下記の習いごとを「機会があれば経験させたい」と思いますか。  
 当てはまるものを全て選択してください。【年収別】 ※現在通っていないものについてのみ回答

① スイミング、サッカー、ダンスなどスポーツ・運動系

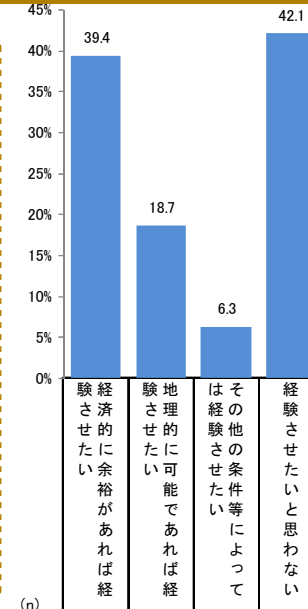
「経済的に余裕があれば経験させたい」と思う割合が49.3%と高くなっている。



全体		1134	49.3	30.6	7.1	23.7
世帯年収別	300万円未満	126	55.6	21.4	5.6	27.0
	300万円～400万円未満	153	51.0	26.1	2.6	28.8
	400万円～500万円未満	183	55.7	32.2	3.8	23.0
	500万円～600万円未満	162	54.9	33.3	4.9	19.8
	600万円～700万円未満	119	51.3	31.9	7.6	21.0
	700万円～800万円未満	93	48.4	33.3	8.6	22.6
	800万円～900万円未満	72	41.7	38.9	13.9	15.3
	900万円～1,000万円未満	52	36.5	32.7	13.5	25.0
	1,000万円～1,500万円未満	62	32.3	41.9	11.3	24.2
	1,500万円以上	17	29.4	23.5	29.4	17.6
	わからない/答えたくない	95	42.1	24.2	9.5	30.5

② ピアノ、絵画など音楽・美術系

「経済的に余裕があれば経験させたい」と思う割合が39.4%である一方、「経験させたいと思わない」層が42.1%と最も多くなっている。

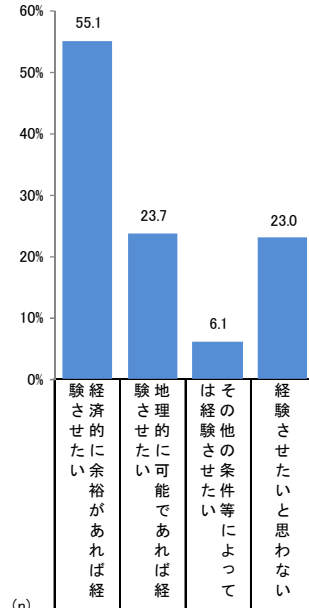


全体		1804	39.4	18.7	6.3	42.1
世帯年収別	300万円未満	193	47.2	15.0	7.3	39.4
	300万円～400万円未満	228	40.8	17.5	4.4	42.5
	400万円～500万円未満	302	43.4	18.2	2.0	42.1
	500万円～600万円未満	280	45.4	15.0	4.6	42.9
	600万円～700万円未満	213	33.8	18.8	5.2	47.9
	700万円～800万円未満	158	42.4	19.6	8.9	36.1
	800万円～900万円未満	97	30.9	18.6	12.4	42.3
	900万円～1,000万円未満	84	32.1	25.0	10.7	42.9
	1,000万円～1,500万円未満	93	24.7	28.0	12.9	40.9
	1,500万円以上	22	22.7	40.9	9.1	31.8
	わからない/答えたくない	134	33.6	19.4	7.5	43.3

Q4. あなたはお子様に下記の習いごとを「機会があれば経験させたい」と思いますか。  
 当てはまるものを全て選択してください。【年収別】 ※現在通っていないものについてのみ回答

③英会話など語学系

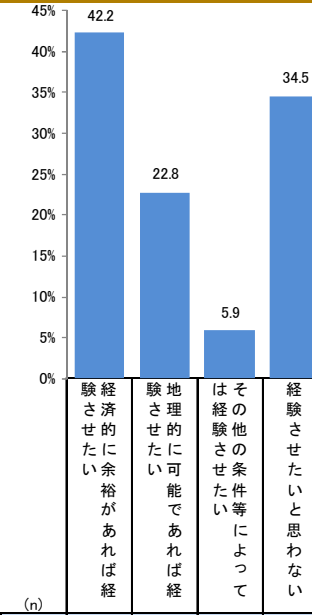
「経済的に余裕があれば経験させたい」と思う割合が圧倒的に多く55.1%を占めている。



全体		2028	55.1	23.7	6.1	23.0
世帯年収別	300万円未満	207	59.9	15.5	5.3	27.5
	300万円～400万円未満	255	56.9	18.4	4.7	26.3
	400万円～500万円未満	332	58.4	22.0	3.0	23.2
	500万円～600万円未満	311	63.0	21.2	3.9	22.8
	600万円～700万円未満	242	57.0	23.1	5.0	23.6
	700万円～800万円未満	183	52.5	21.9	10.9	21.3
	800万円～900万円未満	116	59.5	31.0	6.9	12.1
	900万円～1,000万円未満	95	42.1	33.7	11.6	21.1
	1,000万円～1,500万円未満	109	35.8	39.4	11.9	21.1
	1,500万円以上	24	29.2	37.5	12.5	25.0
	わからない／答えたくない	154	45.5	30.5	7.8	23.4

④習字、そろばん

「経済的に余裕があれば経験させたい」と思う割合が42.2%と多い一方、「経験させたいと思わない」も34.5%を占めている。

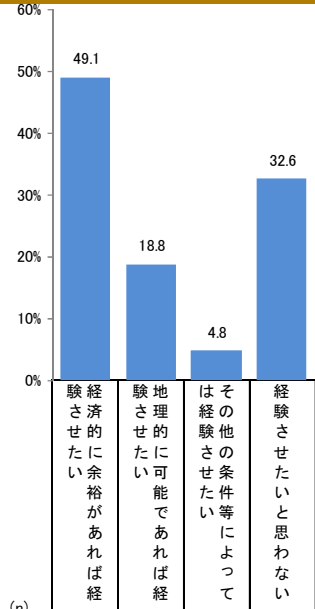


全体		1860	42.2	22.8	5.9	34.5
世帯年収別	300万円未満	183	47.0	16.9	6.0	35.5
	300万円～400万円未満	233	47.2	16.7	4.7	34.8
	400万円～500万円未満	301	47.5	21.6	4.0	32.6
	500万円～600万円未満	287	46.3	21.6	2.8	36.6
	600万円～700万円未満	226	46.0	24.3	6.6	27.9
	700万円～800万円未満	157	43.3	22.3	7.0	33.8
	800万円～900万円未満	112	34.8	26.8	9.8	33.9
	900万円～1,000万円未満	88	28.4	29.5	9.1	38.6
	1,000万円～1,500万円未満	106	27.4	30.2	9.4	39.6
	1,500万円以上	29	17.2	41.4	6.9	37.9
	わからない／答えたくない	138	31.2	26.8	7.2	37.7

Q4. あなたはお子様に下記の習いごとを「機会があれば経験させたい」と思いますか。  
 当てはまるものを全て選択してください。【年収別】 ※現在通っていないものについてのみ回答

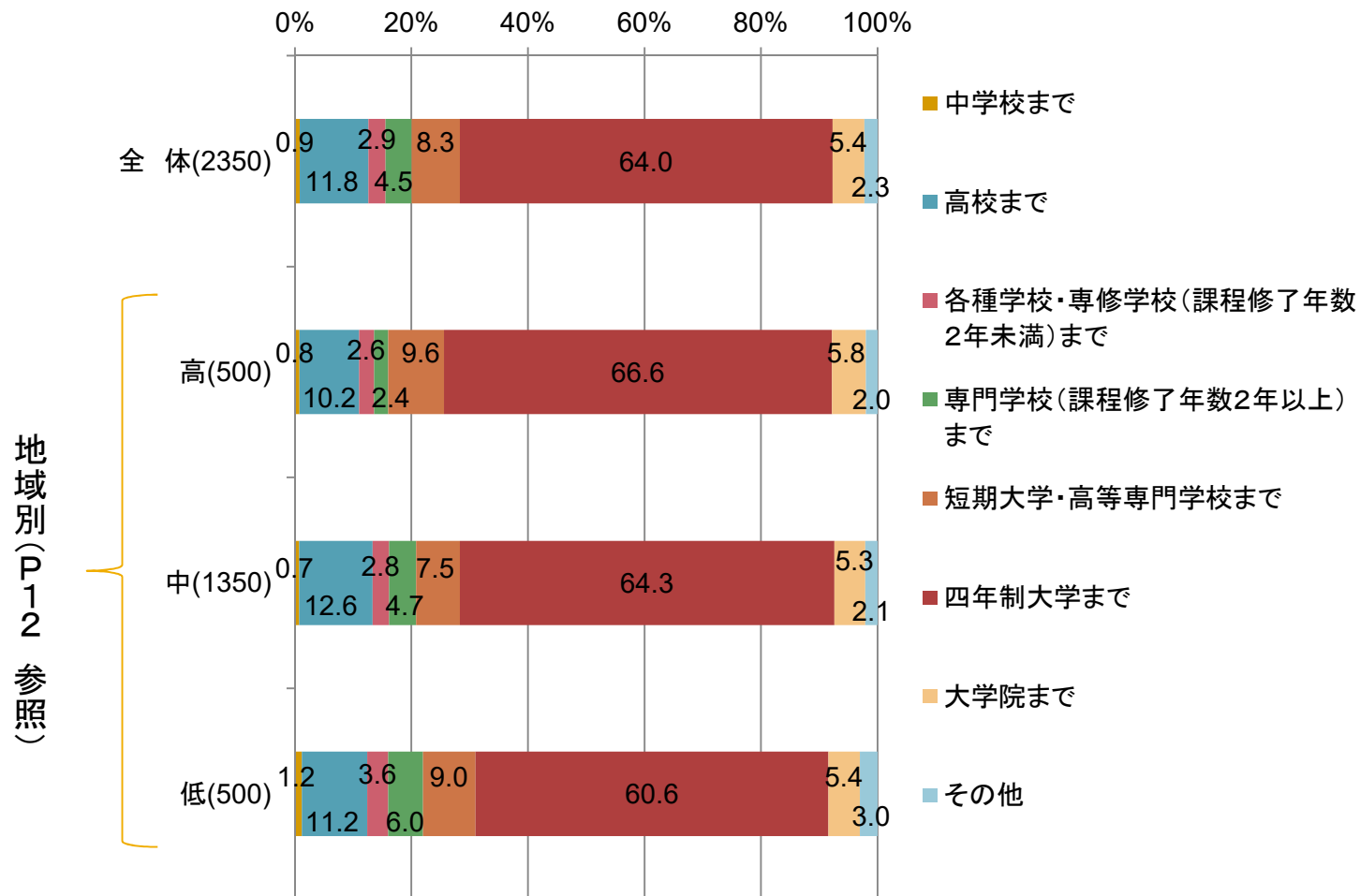
⑤塾、家庭教師、通信教育等

「経済的に余裕があれば経験させたい」と思う割合が49.1%と多くなっている。



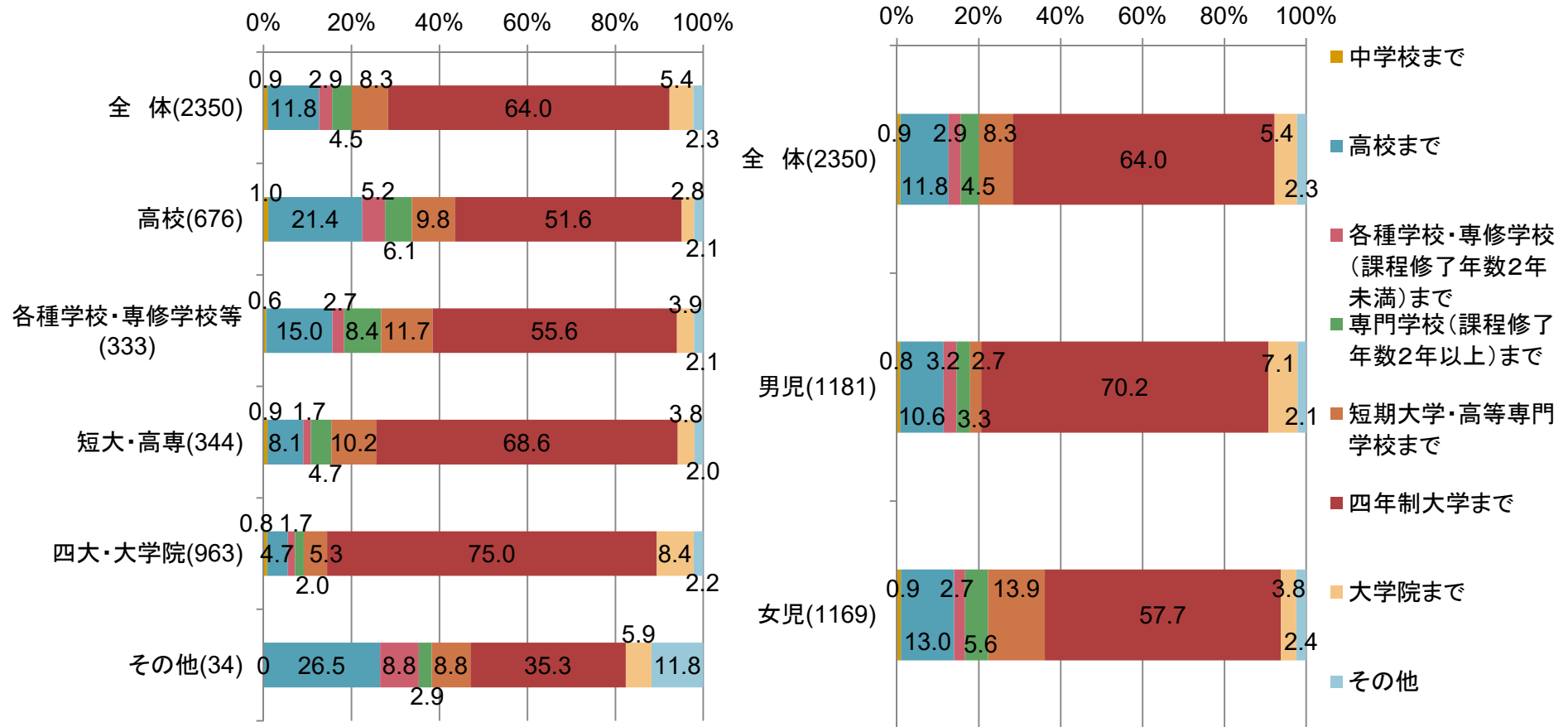
		(n)	49.1	18.8	4.8	32.6
全体		1532	49.1	18.8	4.8	32.6
世帯年収別	300万円未満	164	52.4	11.6	3.7	37.2
	300万円～400万円未満	189	49.7	16.9	3.2	34.9
	400万円～500万円未満	267	53.2	16.1	2.6	31.5
	500万円～600万円未満	237	50.6	15.2	3.4	37.6
	600万円～700万円未満	182	53.8	19.2	2.7	29.7
	700万円～800万円未満	138	47.8	22.5	5.1	30.4
	800万円～900万円未満	77	50.6	28.6	9.1	19.5
	900万円～1,000万円未満	70	37.1	27.1	11.4	32.9
	1,000万円～1,500万円未満	69	30.4	26.1	11.6	36.2
	1,500万円以上	17	17.6	52.9	11.8	23.5
	わからない／答えたくない	122	46.7	19.7	8.2	30.3

## Q5. あなたはお子様をどこまで進学させたいとお考えですか。【全体／地域別】



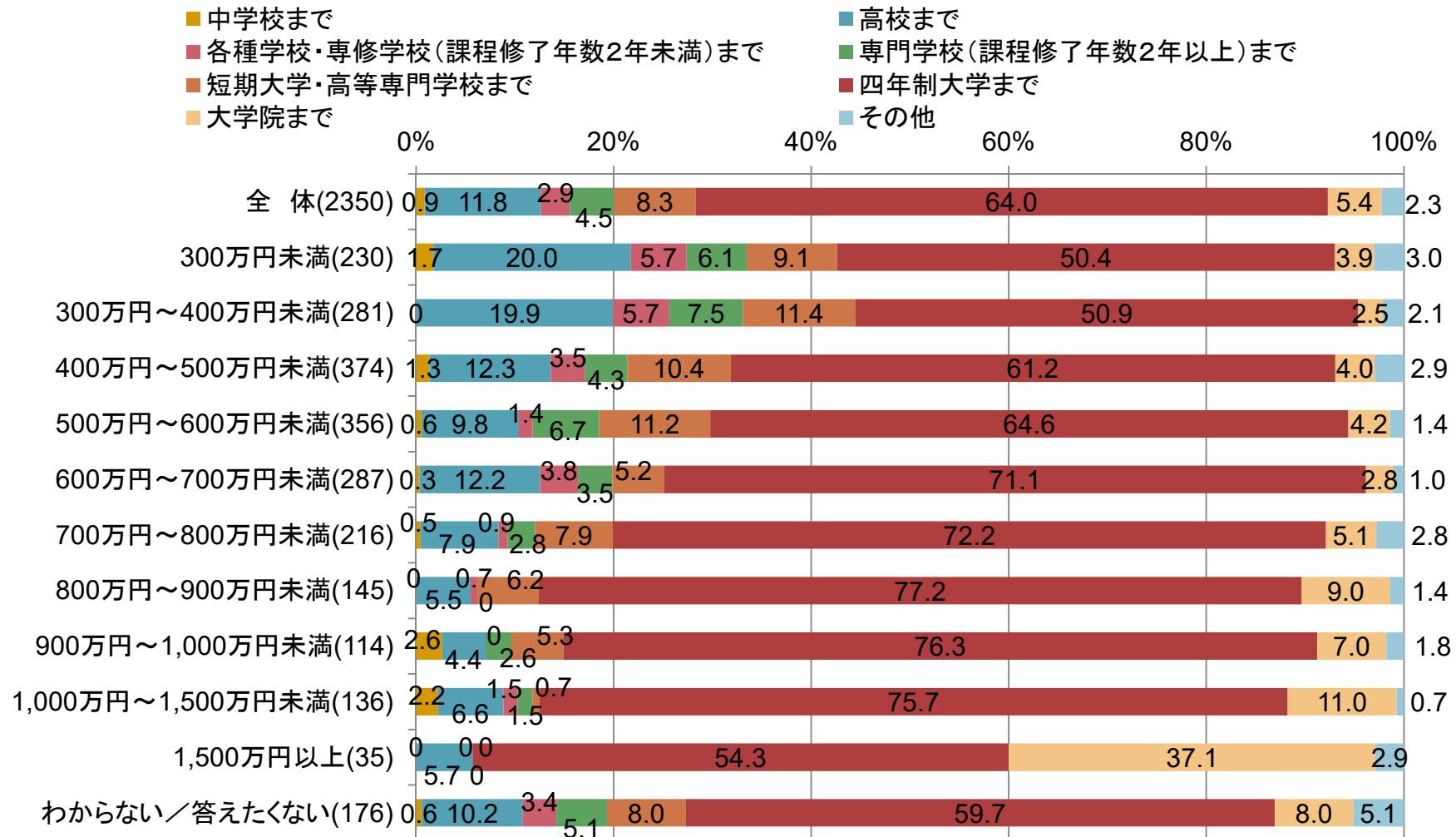
- 全体で見ると、「四年生大学まで」が最も多く64.0%、次いで「高校まで」が多く11.8%である。
- 一方、大学等進学率の地域間格差にはよらず、「四年制大学まで」を期待する割合は60%を超えている。

Q5. あなたはお子様をどこまで進学させたいとお考えですか。  
【左;保護者学歴別／右;子どもの男女別】



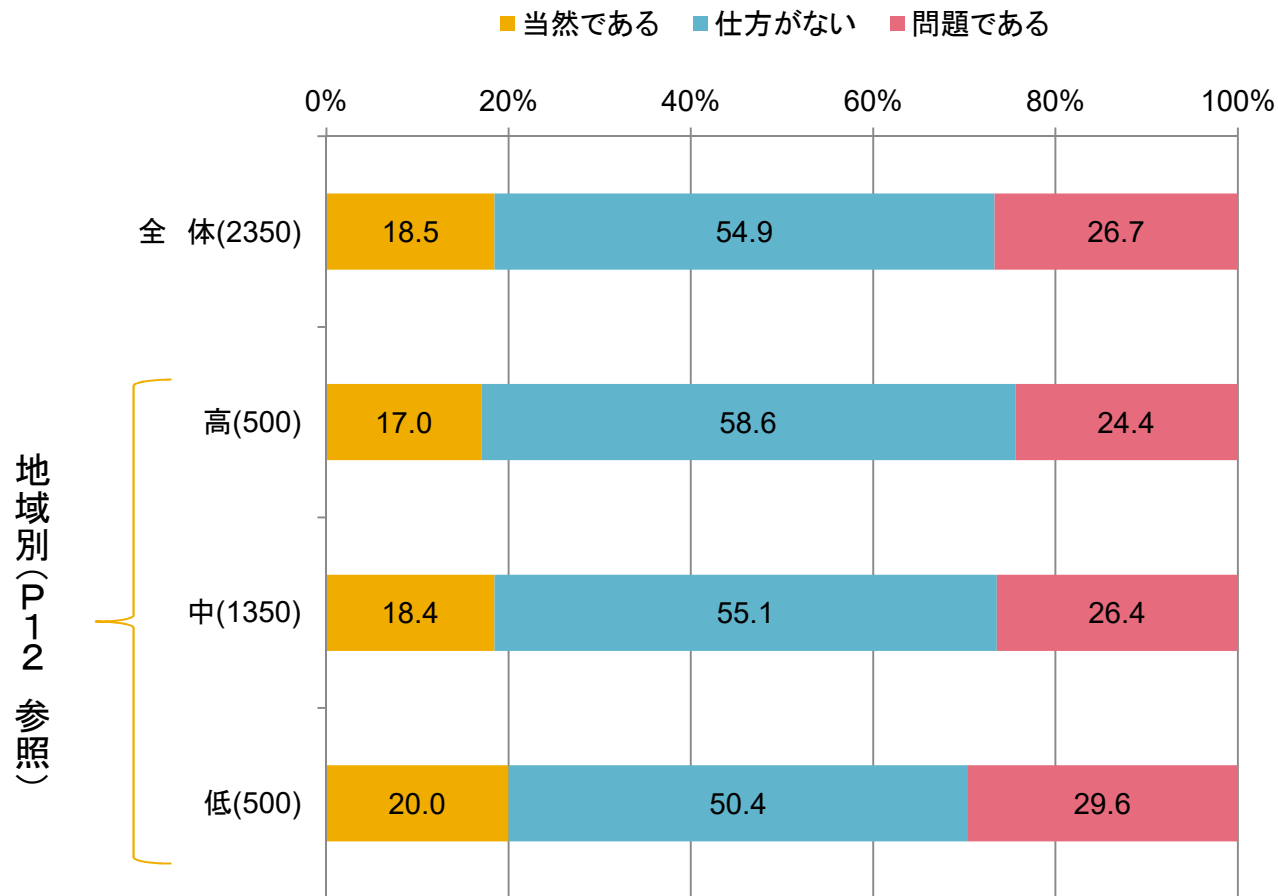
- ・ 保護者の学歴が高いほど、「四年制大学まで」の割合が大きくなり、保護者が四大・大学院卒の場合には75.0%に上る。
- ・ 一方、子どもの男女別にみると、「四年制大学まで」の割合が男児が10ポイント以上高く、女児の場合には「短期大学・高等専門学校まで」が13.9%と高くなっている。

## Q5. あなたはお子様をどこまで進学させたいとお考えですか。【年収別】



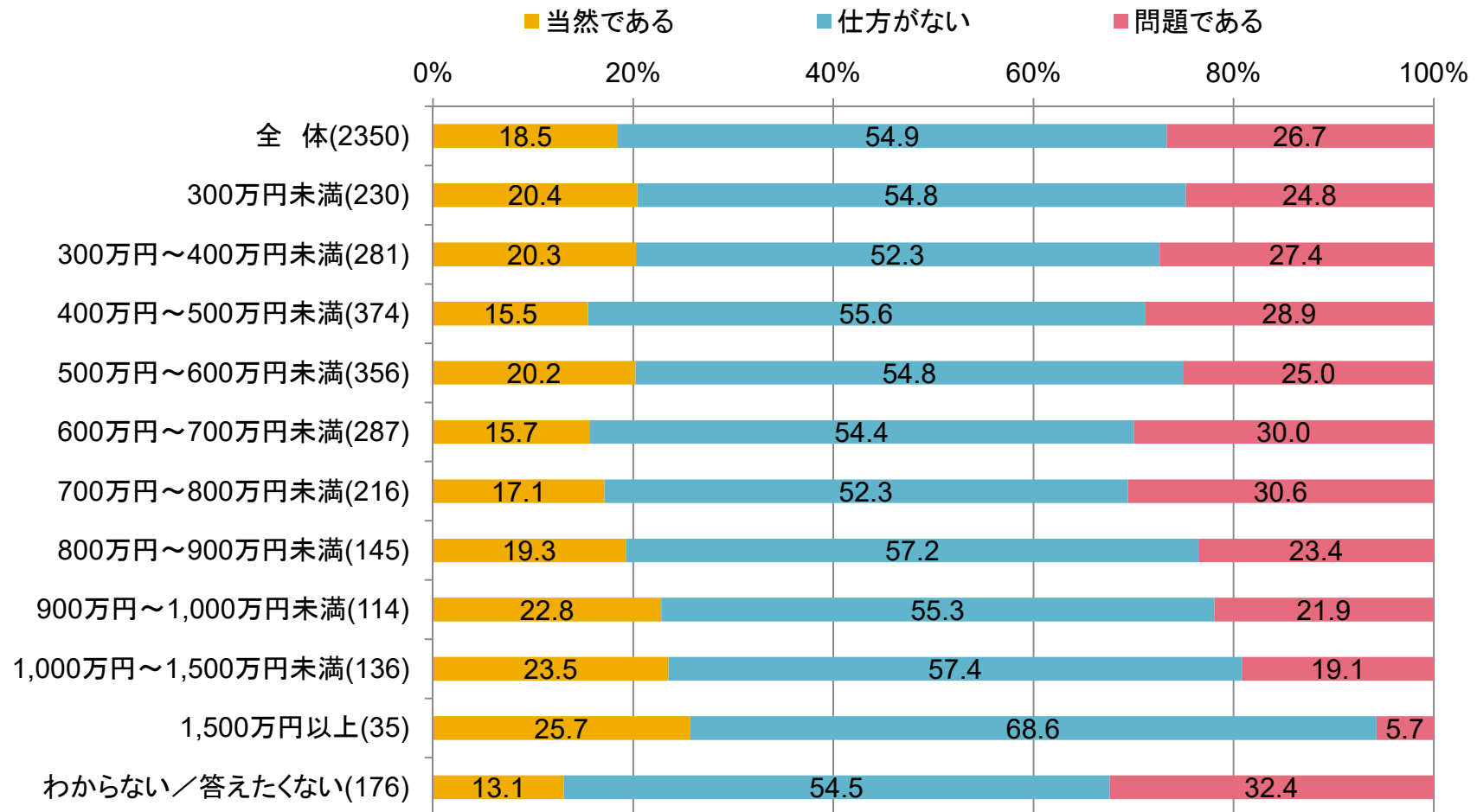
- ・ 世帯年収別にみると、400万円未満で「高校まで」が約20%である。
- ・ 600万円以上では「四年制大学まで」及び「大学院まで」を併せると70%を超えている。

Q6. 「子どもの受ける教育は、家庭の所得によって左右される」傾向があると言われていますが、そのことについて、あなたはどのように思いますか。【全体／地域別】



- 家庭の所得による教育の格差を「当然である」と思う割合は全体で18.5%となっている。
- 一方、地域別にみると、「当然である」、「問題である」ともに大学等への進学率が低いほど高くなる傾向がみられる。

Q6. 「子どもの受ける教育は、家庭の所得によって左右される」傾向があると言われて  
いますが、そのことについて、あなたはどのように思いますか。【年収別】



- 世帯年収別にみると、年収が上がるにつれ「問題である」と思う割合は、年収600～800万円未満が最も多い。
- 「当然である」と思う割合は、年収にかかわらず15%を超えているが、600万円以上で割合が高くなる傾向がみられる。



Q6. 「子どもの受ける教育は、家庭の所得によって左右される」傾向があると言われて  
いますが、そのことについて、あなたはどのように思いますか。その理由をお書きください。  
(抜粋)

問題である

- 「みんな平等に教育が受けられるようにしてほしい」(400万円未満)
- 「教育と医療は皆平等でないとおかしい。経済的理由のために芽が摘まれかねないのは国の損失に繋がるかも知れない。高校までは義務教育化するべき。」(400万円未満)
- 「親によって将来の道が開けたり閉ざされたりというのはあまりにも不平等で切ない話。」(500万円～600万円未満)
- 「子どもはいろいろな可能性を秘めているので、家庭の所得によって狭められるのは残念だと思うから」(600万円～800万円未満)
- 「才能のある子はしかるべき教育を平等に受ける権利があると思うし、それが日本の発展につながるから。」(800万円万円以上)
- 「自分自身が親の所得のため、進学できなかった」(800万円万円以上)

仕方がない

- 「自分もそうだったから」(400万円未満)
- 「ある程度は頑張っ本人の希望を叶えてあげたいが、どうしても無理なときは仕方が無い」(400万円未満)
- 「それが現実だから」(400万円～500万円未満)
- 「家庭事情以上に教育を受けさせると家庭が破綻する」(400万円～500万円未満)
- 「所得があれば、学校以外の塾や習い事に行かせたいというのが親の気持ちであるので仕方がないと思う」(400万円～500万円未満)
- 「最低高校卒業、その上の学歴をつけてやれるほど余裕はない。でも行かせられるものなら専門学校などに行かせたい。経済力のせいで行くという選択肢をあげられないとしみじみ思う。」(500万円～600万円未満)
- 「自分が収入を得られないのは、自分に責任があるから。」(600万円～800万円未満)
- 「教育が無償でない限り経済的な理由で左右され、それよりも教育環境の地域差がひどいと思う」(800万円万円以上)

当然である

- 「経済的に余裕があれば、本人が行きたい習いたいと思う塾やクラスに行かせたいと思うが、生活に支障をきたすようであれば考え直さなくてはならない」(400万円未満)
- 「子どもにける習い事は、きりがいいから。習うということは、出費すること。」(600万円～800万円未満)
- 「貧富の差で受けられる教育に差が出るのは当然の結果である。それなりに親が努力した結果である。」(800万円万円以上)
- 「教育もサービスの一種であって、現在の社会は基本的権利を満たしていることから、より一層の受益は経済性に則っているべきであるから。」(800万円万円以上)

(お問合せ先)

日本の教育を考える10人委員会事務局 担当:香川、志水

URL:<http://www.10nin-iinkai.net/> email:[info@10nin-iinkai.net](mailto:info@10nin-iinkai.net)